

2019年〇月〇日

筑波大学附属病院 脳卒中科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年8月（倫理委員会承認後）～2020年6月の間に、脳梗塞で入院した方

【研究課題名】迅速脳灌流および梗塞体積評価ソフトウェア導入の実行可能性を検討するための多施設共同観察研究

【研究代表者】国立循環器病研究センター 脳血管内科 古賀 政利

【研究参加施設および各施設代表者】

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1. 神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科    | 坂井 信幸 |
| 2. 兵庫医科大学 脳神経外科              | 吉村 紳一 |
| 3. 筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座     | 松丸 祐司 |
| 4. 杏林大学 脳卒中医学                | 平野 照之 |
| 5. 岩手医科大学 超高磁場 MRI 診断・病態研究部門 | 佐々木真理 |
| 6. 北海道大学 放射線科                | 工藤與亮  |

【研究の目的】脳梗塞患者さんの脳血流と脳梗塞の状態をすばやく全自動で計算出来るシステムの導入が可能で有効かを検討するため

【利用する診療情報】

性、年齢、診断名、発症時刻、来院時刻、画像検査開始時刻、解析結果取得時刻、来院時神経学的重症度、危険因子、合併症、血液検査結果、画像検査結果、発症前日常生活自立度、急性期治療内容、二次予防治療内容、退院日、退院時処方内容、退院時神経学的重症度、退院時日常生活自立度、発症90日後日常生活自立度、発症90日までのイベント

【試料・情報の第三者への提供について】

カルテ情報・資料はWEBデータベースで、研究事務局（国立循環器病研究センター 脳血管内科）に送付され、解析されます。

【研究期間】倫理委員会承認より2021年9月30日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年9月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

筑波大学附属病院 脳卒中科/筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座

担当医師： 松丸 祐司（研究代表者）

早川 幹人（分担研究者、情報管理責任者）

電話：029 (853) 3220（脳神経外科、平日・日中）